

配当金のお支払いについて

支払期間経過後の配当金のお受け取り方法に関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。まだお受け取りいただけていない配当金につきましては、支払開始日から3年以内であればお支払いいたします。

株式に関する手続きについて

株式に関する手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。

①証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none">●単元未満株式の買取・買増請求●届出住所・姓名などのご変更●配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている証券会社
<ul style="list-style-type: none">●郵送物の発送と返戻に関するご照会●支払期間経過後の配当金に関するご照会●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式（1～99株）については、市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求（売却）または100株（1単元）となるよう買増請求（購入）をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は下記のお問い合わせ先にお申し出ください。

②特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none">●単元未満株式の買取・買増請求●特別口座から証券口座への振替請求●届出住所・姓名などのご変更●配当金の受領方法・振込先のご変更	特別口座の 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
<ul style="list-style-type: none">●郵送物の発送と返戻に関するご照会●支払期間経過後の配当金に関するご照会●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人

当社会社案内動画のご案内



YouTubeの当社公式チャンネルに最新の会社案内動画を掲載いたしました。公式チャンネルでは製品紹介や過去に放送されたテレビ番組も掲載しています。ぜひご覧ください。



<https://www.youtube.com/@HIOKIJapan> 検索

「90周年記念サイト」のご案内



創業90周年を迎え、「90周年記念サイト」をオープンしました。トップメッセージ、記念動画のほか、今後もさまざまな取り組みを発信しますので、ぜひご覧ください。



<https://hioki90th.jp/> 検索



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



HIOKI
日置電機株式会社

本社 / 〒386-1192 長野県上田市小泉81
TEL 0268-28-0555 FAX 0268-28-0559

※本報告書で使用している会社名および製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

株主の皆様へ

第73期 年次報告書

2024年1月1日>>2024年12月31日

HIOKI



目次

株主の皆様へ	P1
中期経営計画と決算ハイライト	P2
創業90年の歩み	P3~4
創業90周年記念事業	P5
トピックス	P6
事業領域	P7
連結財務諸表	P8
会社概要/役員	P9
株式の状況	P10
配当金等	裏表紙

日置電機株式会社

証券コード:6866

株主の皆様へ

To Our Shareholders



代表取締役社長

岡澤 尊宏
Takahiro Okazawa

株主の皆様におかれましては、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2021年から長期経営方針として「ビジョン2030」を掲げ、HIOKIグループ一体でビジョンの実現に取り組んでまいりました。この間、世界は持続可能な社会の実現に向け、一貫して脱炭素に向けた動きを加速させてきたことも追い風となり、当社業績は大きく伸長してまいりました。一方で昨年以降、エネルギー価格の高止まり等の影響を受けて、脱炭素化に向けた世界的な流れは一部の国や市場において停滞が懸念されております。2025年も米国の政権交代により、さまざまな政策が大きく変更されることが予想され、予断を許さない状況となっております。しかしながら、中長期の視点では各国政府による脱炭素化の方針を受けて企業の設備投資の拡大が引き続き期待され、当社が位置づける重点市場においては設備投資環境が中長期的に堅調に推移すると予測しております。

ビジョン2030の実現まで、残り5年となりました。当社は昨年経営会議等を通じてビジョン2030に到達すべき経営の姿、その指標、指標を実現するための施策を継続して検討してまいりました。昨年10月にはグループ全社の責任者を集めた会議で、各部門、各グループ会社の責任者がビジョン2030の達成に向けての方針、その実現のためのタイムラインを明確に宣言しております。方針の策定にあたっては、現在の姿をもとに、2030年のありたい姿からバックキャストし、そのギャップを埋めるための計画を立案いたしました。

こうした取り組みを踏まえ、2025年～2027年の新たな中期経営計画を開始しました。中期経営計画の確実な達成に向けて、各部門、グループ各社、社員個人まで一貫通貫した明確な目標を設定し、継続的な振り返りを行い、経営計画の確実な達成を目指してまいります。

当社は昨年外部環境の大きな変化を見据え、ビジョン2030の実現のため組織変更を実施し、本部制に移行しました。これによ

り、グループ一体経営の実現を目指します。現在、海外現地法人は10か国に設立しており、今年ベトナムにも現地法人を設立する予定であります。各国各地域においてエンドユーザーであるお客様との接点をさらに増やすことが強みであり、そのためにもグループ一体経営を実現するとともに、スピーディーに意思決定し、実行してまいります。

2025年2月に開催した第73期定時株主総会では、コーポレート・ガバナンス体制のさらなる強化に取り組まれました。海外事業展開や新規事業開発に知見を持つ社外取締役として新たに2名が加わりました。また、退任する社外監査役1名と入れ替わる形で、海外の子会社管理等の実務経験や会社法等の学識を有する社外監査役1名が加わりました。多様な背景を持つ役員が取締役会で自由闊達に議論を行うことで当社の企業価値向上に繋がるものと考えております。

さて、今年、当社は創業90周年を迎えました。これも株主・投資家の皆様をはじめ、各ステークホルダーの皆様のご支援のおかげであり、改めて深く感謝申し上げます。これに合わせ、当社は90周年記念事業を実施いたします。「感謝」と「未来」の共有、ONE HIOKIの実現を記念事業の目的としております。「感謝」は当社からお客様への感謝、役員から社員への感謝、社員同士の感謝、社員からご家族への感謝、先人への感謝、地域への感謝等、1年間を通してさまざまな感謝を共有し、時に発信してまいります。「未来」はビジョン2030、そして100周年への展望を社内外に共有してまいります。これらを契機にONE HIOKIの醸成・認知を社内で飛躍的に高めてまいります。

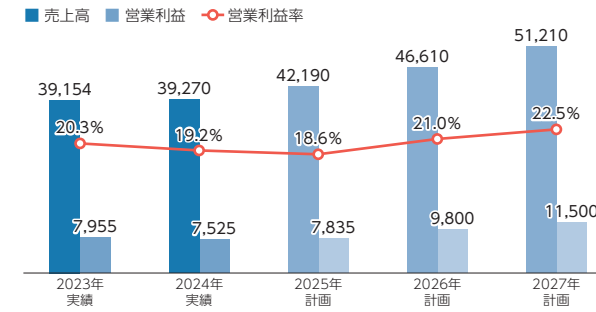
各ステークホルダーの皆様の期待に応えるべく、2025年もビジョン2030に基づき、HIOKIグループ一丸となって積極的な挑戦を続け、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

中期経営計画と決算ハイライト

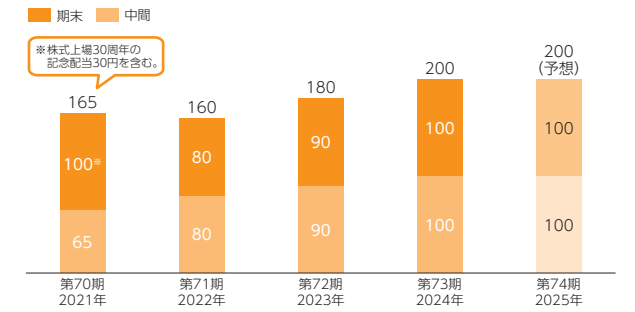
Mid-Term Management Plan & Financial Highlights

中期経営計画 (2025～2027年) (単位:百万円)



※中期経営計画(2025年～2027年)における数値目標は、為替の前提として1米ドル=141円とされています。

1株当たりの配当金の推移 (単位:円)



※株式上場30周年の記念配当30円を含む。

決算ハイライト

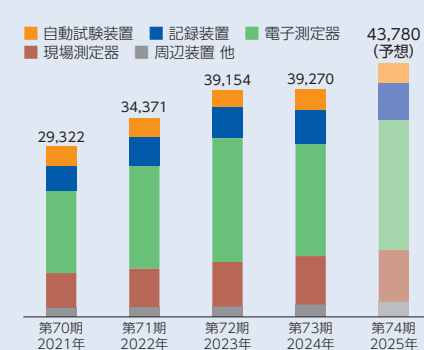
Point

- 受注高は前連結会計年度を上回った。重点市場別ではデバイス市場で受注高が増加した一方で、エネルギーおよびバッテリー市場は受注高が減少した。
- 原材料費や人件費の増加を考慮し、国内外の製品価格を随時見直したが、販売量の減少により売上が伸びず、営業利益と経常利益は前連結会計年度を下回った。
- 期末配当を1株につき100円とし、年間配当金は、中間配当金100円と合わせ200円になった。

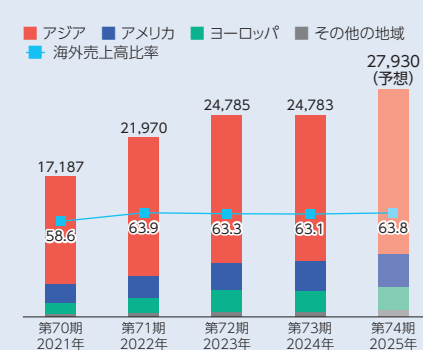
売上高

39,270 百万円(前期比 0.3%増)

製品別売上高



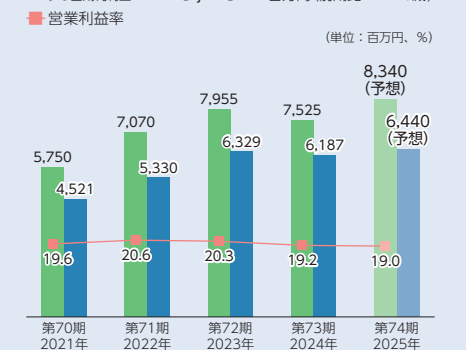
海外売上高



営業利益/親会社株主に帰属する当期純利益

7,525 百万円(前期比 5.4%減)

6,187 百万円(前期比 2.2%減)



※本年次報告書中に記載の金額及び株式数は、表示単位未満は切捨て、比率は四捨五入して表示しております。
※2025年単年度の計画における数値目標は、1米ドル=151円を為替の前提としてしています。

Corporate History

創業以来の経営に対する想いを当社は1986年に「HIOKIの理念」として制定し、「人間性の尊重」と「社会への貢献」をベースに電気計測器の開発、生産、販売・サービスを事業としてまいりました。その歩みをご紹介します。



上田南リーグを設立 (1991)



アメリカにHIOKI USA CORPORATIONを設立 (1998)



HIOKI祭り (2000)



東証一部上場 (2003)

出来事



創業以降の経営を支えた創業家 (左から日置美三、峰二、四郎)



創業50周年記念式典での日置恒明社長 (1985)



HIOKIフォレストヒルズが完成 (1990)



日置上海開所式 (2007)



緑化推進運動功労者としてHIOKI本社工場に内閣総理大臣表彰 (2009)



クランプオンパワーロガー PW3365が各賞を受賞 (2014)



協創ラボラトリーを新設 (2023)

製品



テスタの第1号器 (H甲回路試験器) を発売 (1946)



クランプ式電力計3133 (1978)



メモリハイコーダ8801 (1983)



インサーキットハイテスタ 1101 (1986)



売上高 (億円)

400

300

200

100

沿革

創業期	量産期	展開期	強化期	挑戦期	進化期	
<p>1935 日置美三が東京都港区で指示電気計器の製作を開始</p> <p>1938 東京都目黒区に日置電機計器製作所を設立</p> <p>1942 美三の兄・日置峰二、弟・日置四郎、義弟・海瀬四郎が事業に参画</p> <p>1945 戦火により長野県坂城町に移転 パネルメーターH-45、H-65を発売</p> <p>1946 テスタの第1号器 (H甲回路試験器) を発売</p>	<p>1952 日置電機株式会社設立</p> <p>1952 アメリカ極東空軍の航空機用マルチテスタ (MIL規格) 製造工場に指定され、大量受注</p> <p>1961 商標マークを決定</p> <p>1962 社是制定</p> <p>1968 指示電気計器のJISマーク表示許可</p> <p>1970 アメリカに現地販売会社 SIMI 設立 (1971年 HIOKI NEW YORK CORPORATION INC. に社名変更、1976年現地法人化、1982年 RCC社と合併)</p> <p>1971 クランプ電流計 CT-300を発売</p>	<p>1974 絶縁抵抗計IR-305を発売</p> <p>1974 接地抵抗計ER-309を発売</p> <p>1975 内磁トートバンドの計器を自主開発および発売</p> <p>1975 世界初の液晶表示デジタルハイテスタ3201を発売</p> <p>1977 デジタルクランプハイテスタ3202を発売</p> <p>1978 電池式絶縁抵抗計・回路計 (テスタ) に日本工業規格JISマーク表示許可</p> <p>1978 クランプ式電力計3131、3133を他社に先駆け開発・発売</p> <p>1981 クランプオンパワーハイテスタ3161を発売</p> <p>1981 ハイテスタ3000を発売</p> <p>1983 メモリハイコーダ8801を他社に先駆け開発・発売</p> <p>1985 創業50周年記念式典を開催</p> <p>1985 グッドデザイン賞を初受賞 (メモリハイコーダ8801など5機種)</p> <p>1986 「HIOKIの理念」策定</p> <p>1986 インサーキットハイテスタ1101を発売</p> <p>1988 HIOKIフォレストヒルズで社員による植樹祭を開催</p> <p>1989 特定公益信託フォレストヒルズ奨学基金を発足</p> <p>1990 長野県上田市にHIOKIフォレストヒルズ新本社工場完成・移転</p>	<p>1991 株式会社頭公開</p> <p>1991 少年硬式野球「上田南リーグ」設立</p> <p>1993 ISO9001 メモリハイコーダ認証取得</p> <p>1994 HIOKIロジック (社員寮) 竣工</p> <p>1994 日置フォレストプラザ株式会社設立</p> <p>1995 第1回「ふるさと森づくり」神科小学校で実施</p> <p>1997 ISO14001認証取得</p> <p>1998 アメリカにHIOKI USA CORPORATIONを設立</p> <p>1999 日置エンジニアリングサービス株式会社設立 (2013年日置電機と合併)</p> <p>2000 第1回HIOKI祭りを開催</p> <p>2001 東京証券取引所第二部に上場</p> <p>2003 東京証券取引所第一部に上場</p>	<p>2005 財団法人HIOKI奨学・緑化基金設立 (2010年公益財団法人に移行)</p> <p>2006 本社工場隣に新工場 (ソリューションファクトリー) 完成</p> <p>2006 東亜ディーケーケー株式会社から電子測定器事業を譲受</p> <p>2006 ハインズテック株式会社設立 (2011年当社と合併)</p> <p>2007 中国に日置 (上海) 商貿有限公司を設立 (2021年日置 (上海) 測量技術有限公司に社名変更)</p> <p>2007 「ケニア植生回復プロジェクト」の支援開始</p> <p>2008 世界初の金属非接触式電圧計 (セーフティハイテスタ) を開発・発売</p> <p>2008 第1回子どもと家族を応援する日本「内閣府特命担当大臣賞」受賞</p> <p>2009 緑化推進運動功労者としてHIOKI本社工場に内閣総理大臣表彰</p> <p>2010 インドにHIOKI INDIA PRIVATE LIMITEDを設立 (2016年閉鎖)</p> <p>2010 シンガポールにHIOKI SINGAPORE PTE.LTD.を設立</p> <p>2011 安全衛生施策に対し、平成23年度厚生労働大臣奨励賞を受賞</p> <p>2012 上田市内の小学校に楽器を寄贈したことなどが評価され、紺綬褒章を受章</p> <p>2013 健康増進センター竣工</p>	<p>2014 クランプオンパワーロガー PW3365がJECA FAIR 2014で国土交通大臣賞受賞</p> <p>2014 電圧センサ PW9020が2014グッドデザイン特別賞 (未来づくりデザイン賞) 受賞</p> <p>2015 HIOKIイノベーションセンター竣工</p> <p>2016 UAE のドバイに中東駐在員事務所設立 (2024年子会社設立時に閉鎖)</p> <p>2016 インドにHIOKI INDIA ENGINEERING PRIVATE LIMITEDを設立 (2019年事業変更、HIOKI INDIA PRIVATE LIMITEDに社名変更)</p> <p>2017 HIOKIロジック (第2棟) 竣工</p> <p>2017 ドイツにHIOKI EUROPE GmbHを設立</p> <p>2018 台湾に台湾日置電機股份有限公司を設立</p> <p>2018 インドネシアにPT. HIOKI ELECTRIC INSTRUMENTを設立 (2023年PT. HIOKI ELECTRIC INDONESIAに社名変更)</p> <p>2018 メモリハイコーダ MR6000がF デザインアワード (ドイツ) を受賞</p> <p>2019 AC/DCカレントセンサ CT6877が JIDAミュージアムセレクション vol.21セレクション賞受賞</p> <p>2019 メモリハイコーダ MR6000がF デザインアワード (ドイツ) を受賞</p>	<p>2020 長期経営方針【ビジョン2030】を発表</p> <p>2020 ジャパンマニユアルアワード2020でマニユアル オブ ザ イヤー2020受賞 (メモリハイロガーLR8450、LR8450-01クイックスタートマニュアル)</p> <p>2020 中国に日置 (上海) 科技發展有限公司を設立</p> <p>2021 中国に日置 (上海) 測量儀器有限公司を設立</p> <p>2021 坂城工場を開設</p> <p>2022 東京証券取引所プライム市場に移行</p> <p>2023 HIOKIイノベーションセンター内に協創ラボラトリーを新設</p> <p>2024 タイにHIOKI ELECTRIC (THAILAND) CO., LTD.を設立</p> <p>2024 UAEにHIOKI MEA FZCOを設立</p> <p>2024 上田第二工場を開設</p> <p>2024 横浜・大阪にテクニカルセンターを新設</p> <p>2025 創業90周年</p>

創業90周年記念事業

HIOKI 90th Anniversary

株主・投資家の皆様を始め、各ステークホルダーの皆様のご支援のおかげで、当社は今年創業90周年を迎えました。記念の年を迎えるにあたり、90周年記念事業を実施する予定です。この目的は、「感謝」と「未来」の共有、ONE HIOKIの実現にあります。

90周年シンボルマーク

創業90周年を迎えるにあたり、社内で公募し、アメリカ販売子会社社員がデザインしたシンボルマークを採用しました。

シンボルマークコンセプト

HIOKIの90年にわたるイノベーション、グローバルな影響力、そして人中心の価値観の歩みを示すものです。「90」を地球儀、上昇する矢印、抽象的な人物像と一体化させ、進歩、持続可能性、人間性の尊重を表現しています。HIOKIの資産と将来を見据えたビジョンを反映しており、より良い世界を目指すHIOKIの将来の願望とコミットメントを示す道標となっています。



キービジュアル

創業90周年のキービジュアルは、当社の今の事業領域とサステナビリティ、そして未来の事業領域をイメージしたビジュアルに、計測が指し示す規則正しい波形をデザインしました。また、「未来二先行セヨ」というタグラインを定めました。当社は計測ソリューションで社会を支え、サステナブルな社会の実現のため、計測の力で未来を描いていく決意を新たにしています。



本社展示ゾーン「Hioki Showroom」のリニューアル

本社展示ゾーンをこのたびリニューアルいたしました。創業から90年に渡る当社の沿革や過去多くのお客様にお使いいただいた商品を表示しております。また、ビジョン2030実現に向けた重点市場に沿って、最新機種のソリューション展示がご覧になれます。ご来場の皆様からのメッセージを共有させていただく場も設けておりますので、株主総会や毎年9月に開催されるHIOKI祭りの際には、ぜひご来場ください。



この他、創業90周年に関する情報を記念サイトで随時発信してまいります。ぜひご覧ください。



トピックス

Topics

01 TOPICS

高電圧太陽光インバーターの出荷検査に対応のデータロガー用モジュールを発売

2024年7月、電力計測モジュールM7103を発売しました。再生可能エネルギーのひとつである太陽光発電システムでは、発電効率向上とコストダウンのために高電圧化が進められています。高電圧太陽光インバーターやESS（電力貯蔵システム）などの社会実装が始まる分野における製造工程や品質評価での利用を想定し、M7103は高電圧に対応しつつも省スペースと拡張性を重視して開発されました。M7103の発売により次世代エネルギーシステムの生産効率化を支援し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



電力計測モジュールM7103を4台装着

02 TOPICS

お客様とのさらなる協創のため横浜・大阪にテクニカルセンターを設置

当社は革新的計測ソリューションの具現化のため、横浜と大阪の各販売拠点内にテクニカルセンターを新設しました。水電解/燃料電池に関する計測課題に対応するため、横浜にはモーターベンチ、パワーアナライザー、部分放電試験装置、大阪にはバッテリーセル/モジュール評価装置、各種材料/部材評価装置、車載バッテリーモジュールといった設備を導入しました。この施設を起点に、お客様や協業各社様とともに、新たな課題の発見と解決を進めるとともに、独自性ある商品開発を実現してまいります。



横浜テクニカルセンター

03 TOPICS

環境省自然共生サイト（OECM）および30by30に認定

2024年10月に「HIOKIフォレストヒルズ」が環境省の自然共生サイト（OECM）および30by30に認定されました。HIOKIフォレストヒルズは、1988年から当社の社員が継続的に植樹や維持管理を行い、地域の生態系保全に寄与しています。現在までに93,000本以上の木々が植えられ、敷地内には希少な植物も確認されています。今回、地域の生物多様性の保全を促進し、社員や来訪者に自然と触れ合う機会を提供するため、自然共生サイトの認定を受けました。今後、HIOKIフォレストヒルズでは、特定の保護エリアを設け、希少植物の生息地を中心に保全活動を強化します。



自然共生サイト認定

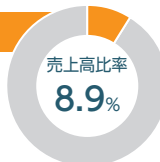
事業領域

Business Outline

4つの製品群で研究開発から保守サービスまで対応しています

自動試験装置

電子回路基板や部品内蔵基板の検査にスマートフォンや自動車などに使われている電子回路基板の良否を検査



売上高35億円



記録装置

電気機器の開発や設備の異常監視にあらゆる機器やシステムの制御が適正に動作しているかを電気信号の波形から解析



売上高58億円



電子測定器

電子部品・バッテリーの検査や省エネ、電源の品質評価にモーター・インバーターの効率評価やバッテリーの潜在不良を検出

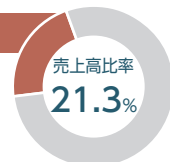


売上高194億円



現場測定器

電気工事・設備の保守点検に受配電設備などの現場で、設備の保守管理のための電圧・電流や絶縁抵抗の測定



売上高83億円



私たちが安全で快適な生活が送れるよう、あらゆる分野で活躍しています

電子部品分野

- 自動車の電動化、モバイル端末の高機能化に伴い、搭載数が増える電子部品の高速かつ高精度の評価検査

自動車分野

- ハイブリッドカーや電気自動車のモーター、インバーター、バッテリーなどの開発・性能評価

インフラ分野

- 電気、ガス、交通などのインフラの保守点検

環境・新エネルギー分野

- 電気機器や設備の電力使用状況を把握し、省エネ推進
- 太陽光や風力発電などの新エネルギーの品質・効率評価、設備の保守点検

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産	29,603	30,471
固定資産	15,647	17,688
有形固定資産	12,754	14,827
無形固定資産	598	530
投資その他の資産	2,294	2,330
資産合計	45,250	48,159
負債の部		
流動負債	7,058	7,261
固定負債	1,069	1,077
負債合計	8,128	8,339
純資産の部		
株主資本	36,277	38,915
その他の包括利益累計額	845	904
純資産合計	37,122	39,820
負債純資産合計	45,250	48,159

連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年1月1日から 2023年12月31日まで)	当連結会計年度 (2024年1月1日から 2024年12月31日まで)
売上高	39,154	39,270
売上原価	20,888	19,707
売上総利益	18,265	19,563
販売費及び一般管理費	10,309	12,037
営業利益	7,955	7,525
経常利益	8,236	7,990
税金等調整前当期純利益	8,233	8,034
親会社株主に帰属する当期純利益	6,329	6,187

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年1月1日から 2023年12月31日まで)	当連結会計年度 (2024年1月1日から 2024年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,438	8,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,353	△3,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,320	△3,602
現金及び現金同等物に係る換算差額	145	236
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,908	1,762
現金及び現金同等物の期首残高	11,836	14,745
現金及び現金同等物の期末残高	14,745	16,507

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、原材料及び貯蔵品が減少いたしました。現金及び預金、建物及び構築物が増加したため、前連結会計年度末と比較して29億8千万円増加し、481億59百万円になりました。

負債は、未払法人税等が増加したため、前連結会計年度末と比較して2億11百万円増加し、83億39百万円になりました。

純資産は、自己株式を取得いたしました。利益剰余金が増加したため、前連結会計年度末と比較して26億97百万円増加し、398億20百万円になりました。

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して17億62百万円増加し、165億7百万円になりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、88億74百万円の収入になりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益80億34百万円、減価償却費16億34百万円及び棚卸資産の減少額17億22百万円です。主な減少要因は、売上債権の増加額6億62百万円及び法人税等の支払額15億51百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、37億46百万円の支出になりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出及び配当金の支払額により、36億2百万円の支出になりました。

会社概要/役員 (2025年2月27日現在)

Corporate Profile/Executives

会社概要

商号	日置電機株式会社
英文商号	HIOKI E.E. CORPORATION
創業	1935年(昭和10年)6月
設立	1952年(昭和27年)1月
商標	HIOKI
資本金	32億9,946万円
従業員数	1,098名(2024年12月31日現在、HIOKIグループ全体)
事業内容	電気計測器の開発、生産、販売・サービス
本社・工場	長野県上田市小泉81
グループ会社	日置フォレストプラザ(株) HIOKI USA CORPORATION 日置(上海)測量技術有限公司 日置(上海)科技發展有限公司 日置(上海)測量儀器有限公司 HIOKI SINGAPORE PTE. LTD. HIOKI KOREA CO., LTD. HIOKI INDIA PRIVATE LIMITED HIOKI EUROPE GmbH 台湾日置電機股份有限公司 PT. HIOKI ELECTRIC INDONESIA HIOKI ELECTRIC (THAILAND) CO., LTD. HIOKI MEA FZCO

役員

取締役	
代表取締役社長	岡 澤 尊 宏
取締役	巢 山 芳 計
取締役	久保田 訓 久
取締役	鷹 野 保 直
社外取締役	田 村 義 晴
社外取締役	丸 田 由香里
社外取締役	馬 渡 修
社外取締役	牧 辰 人
社外取締役	渡 瀬 ひろみ

監査役

常勤監査役	大 野 俊 子
常勤監査役	村 田 英 典
社外監査役	弓 場 法
社外監査役	高 橋 均

株式の状況 (2024年12月31日現在)

Stock Information

株式の状況

発行可能株式総数	40,514,000株
発行済株式の総数	14,024,365株
株主数	7,559名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,269	9.38
日置電機社員持株会	815	6.03
日置恒明	800	5.91
日置勇二	719	5.31
株式会社八十二銀行	666	4.92
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	574	4.24
日置妙子	573	4.24
明治安田生命保険相互会社	510	3.77
MISAKI ENGAGEMENT MASTER FUND	350	2.59
日置秀雄	340	2.51

(注) 1. 当社は自己株式を490千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

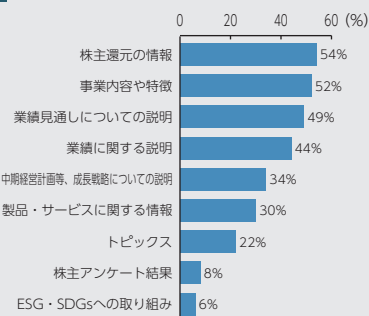
株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年2月
期末配当金受領 株主確定日	毎年12月31日 (中間配当金を支払う場合は、毎年6月30日)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.hioki.co.jp/jp/ir/) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場市場	東京証券取引所プライム市場 (証券コード 6866)

株主様からの声

株主の皆様とのより良いコミュニケーションを図るため、第73期中間報告書で「株主アンケート」を実施しました。お忙しいところご回答いただき、誠にありがとうございました。その結果の一部をご紹介します。

今後、株主通信への記載を希望または充実してほしい情報は何ですか？(複数選択可)

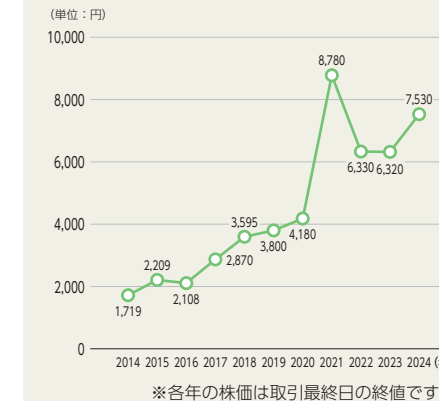


株主の皆様からいただいたお声

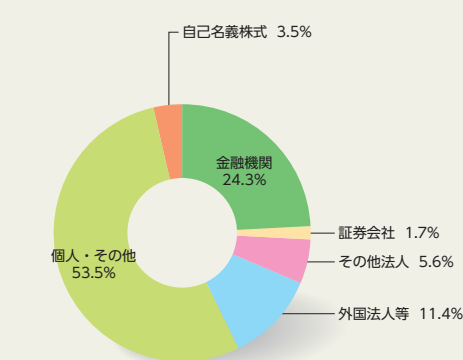
- これからも業績拡大と増配を期待しています。
- 独自の保有技術を大事に活かしながら、2030年の技術予測からバックキャストした新技術開発に取り組んでください。
- 地方で、地元へ根差し、なおかつグローバルに活躍する貴社のファンです。いつの日かHIOKI祭りに参加したいです！

アンケートを通じて株主の皆様から多くの励ましのお言葉をいただきました。心からお礼申し上げます。今回、「今後、事業報告書への記載を希望または充実してほしい情報」についてお聞きました。結果として株主還元や事業内容、業績見通し等について記載を希望されていることが分かりました。今後、事業報告書の中でこれらを分かりやすくお伝えできるように、当社内で検討してまいりたいと思います。このたびいただきました貴重なご意見・ご要望を今後の活動に活かし、企業価値の向上に努めてまいります。引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株価推移



所有者別株式数分布



所有株数別株主分布

